



# 県報かながわ

発行所  
 神奈川県板金工業組合  
 横浜市中区吉浜町1-9  
 エトール吉浜504  
 〒231-0024 ☎045-662-2164  
 発行人 村田 隆男  
 編集人 広報委員会

## 謹賀新年



## 御挨拶

### 新年の御挨拶

平成二十九年一月

理事長 村田 隆男



たつては、二年前から三つの委員会を設け、全理事が一丸となり、民間投資を喚起する成長戦略の推進により、雇用の拡大、所得環境が改善する中で、緩やかな景気回復が続いていると言われていますが、我々の業界においては景況好転が実感できていないのではないのでしょうか。

組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年は、年明けとともに創立五十周年記念事業の開催となりましたが、組合員の皆様、関係各位から格別なるご支援をいただき盛会裏に執り行うことができました。本紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

創立五十周年という大きな節目を迎えるにあたり、組合員皆様から貴重なお言葉をいただきましたこと重ねて感謝御礼申し上げます。

十一名受講、全板連「京都市大会」には四十五名、さらに、レクリエーション大会や安全大会に大勢の組合員の皆さんに参加いただきました。ふたつに、関係団体が開催する技能体験フェスタ、中学生対象の「ものづくり魅力発信講座」など技能振興事業には認定マイスターの組合員が全面的に協力し感謝されています。

さて、我が国の経済状況は、「アベノミクス」政策が唱えられてから五年、この間、金融政策、民間投資を喚起する成長戦略の推進により、雇用の拡大、所得環境が改善する中で、緩やかな景気回復が続いていると言われていますが、我々の業界においては景況好転が実感できていないのではないのでしょうか。

このような状況の中、組合員皆様のご支援、ご協力、ご協力をいただき、組合員の皆様、関係各位から格別なるご支援をいただき、本紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

また、今年も板金業界を取り巻く現実、益々厳しさを増しております。先輩方に大変お世話になりました。

この所、毎年国内外で大きな自然災害にみまわれています。地域では長い復興の最中です。又、日本を代表する企業でも舵取りの過ちから、もがき苦しんでいます。国際的には世界を牽引する大国がどこへ向かうのか、自然、経済・世情、どれを取っても不安定の中、日本は東京オリンピックに向けて本格的に動き始めています。



副理事長 市川 肇



副理事長 監物 光



副理事長 船木 家國



副理事長 和田英則



副理事長 齋藤 真人

新年あけましておめでとうございます。本年は年明け早々、神奈川県板金工業組合創立五十周年式典祝賀会が、一月十八日（水）ホテルメルパルク横浜で来賓、業界関係者二百二十四名が、出席のもと盛大に開催されました事、組合員各位に絶大なるご支援ご協力を賜りました事、厚くお礼申し上げます。

平成二十九年、新しい年を迎え、組合員の皆様におかれましては、新たな目標に向かわれたことでしょうか。

今年、神奈川県板金工業組合も創立五十周年を迎えました。

組合員全員の協力もあり、式典・祝賀会ともに盛り上がり、滞りなく終了することができました。

一つの大きな事業としては、怠らない準備と、大勢の協力する力、知恵と経験、今回も事務局、先輩方に大変お世話になりました。

この所、毎年国内外で大きな自然災害にみまわれています。地域では長い復興の最中です。又、日本を代表する企業でも舵取りの過ちから、もがき苦しんでいます。国際的には世界を牽引する大国がどこへ向かうのか、自然、経済・世情、どれを取っても不安定の中、日本は東京オリンピックに向けて本格的に動き始めています。

私共、組合の皆様におかれましては、日常の準備を怠らず、良い仕事をし、日々平安を祈念いたします。

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には、ご健勝にて新年を迎えられた事と、心からお慶び申し上げます。

一月十八日神奈川県板金工業組合創立五十周年記念式典・祝賀会が開催されました。創立五十周年記念誌に当たり、支部のあゆみ・組合活動・広報等、皆様の絶大なるご協力を賜り、記念誌発刊となりました事、心より厚くお礼申し上げます。

さて、オリンピック・パラリンピックに向けて、大手ゼネコン・協力業者からは、人手不足等の話がありますが、我々の話があり、また、板金業界未だ厳しい状況にあると思われ、組合員の皆様共々協力し、良い一年に成りますよう、頑張ってください。

又、皆様多数参加できる工場見学・商社等が御座居ましたら、広報にご連絡下さい。

最後になりましたが、組合員皆様のご多幸と繁栄を心から申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。

神奈川板金工業組合の元、新年を迎え、一層の団結を深めてゆきたいと思っております。今の組合を、建築業界にとつて必要とされる組合にするためにも、皆様の意見やご協力の元、今できることを、一つずつ改善してゆきたいと思っております。

神奈川板金工業組合の元、新年を迎え、より一層の団結を深めてゆきたいと思っております。今の組合を、建築業界にとつて必要とされる組合にするためにも、皆様の意見やご協力の元、今できることを、一つずつ改善してゆきたいと思っております。

平成二十九年は西年で、県板の五十周年の式典も、組合員の皆様のお力でも無事に終わり、また、新たに六十年、七十年、そして百年に向けてのスタートの年だと思っております。組合員の皆様共々協力し、良い一年に成りますよう、頑張ってください。

また、皆様多数参加できる工場見学・商社等が御座居ましたら、広報にご連絡下さい。

最後になりましたが、組合員皆様のご多幸と繁栄を心から申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。

神奈川板金工業組合の元、新年を迎え、より一層の団結を深めてゆきたいと思っております。今の組合を、建築業界にとつて必要とされる組合にするためにも、皆様の意見やご協力の元、今できることを、一つずつ改善してゆきたいと思っております。

平成二十九年は西年で、県板の五十周年の式典も、組合員の皆様のお力でも無事に終わり、また、新たに六十年、七十年、そして百年に向けてのスタートの年だと思っております。組合員の皆様共々協力し、良い一年に成りますよう、頑張ってください。

また、皆様多数参加できる工場見学・商社等が御座居ましたら、広報にご連絡下さい。

最後になりましたが、組合員皆様のご多幸と繁栄を心から申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。

神奈川板金工業組合の元、新年を迎え、より一層の団結を深めてゆきたいと思っております。今の組合を、建築業界にとつて必要とされる組合にするためにも、皆様の意見やご協力の元、今できることを、一つずつ改善してゆきたいと思っております。

平成二十九年は西年で、県板の五十周年の式典も、組合員の皆様のお力でも無事に終わり、また、新たに六十年、七十年、そして百年に向けてのスタートの年だと思っております。組合員の皆様共々協力し、良い一年に成りますよう、頑張ってください。

また、皆様多数参加できる工場見学・商社等が御座居ましたら、広報にご連絡下さい。

最後になりましたが、組合員皆様のご多幸と繁栄を心から申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。

神奈川板金工業組合の元、新年を迎え、より一層の団結を深めてゆきたいと思っております。今の組合を、建築業界にとつて必要とされる組合にするためにも、皆様の意見やご協力の元、今できることを、一つずつ改善してゆきたいと思っております。

平成二十九年は西年で、県板の五十周年の式典も、組合員の皆様のお力でも無事に終わり、また、新たに六十年、七十年、そして百年に向けてのスタートの年だと思っております。組合員の皆様共々協力し、良い一年に成りますよう、頑張ってください。

# 神奈川県板金工業組合 創立50周年記念式典



▲村田理事長



▲監物副理事長

日本板金工業組合連合会 二次製品協議会会長宇井 理事長石本惣治氏・神奈川県議会議員・神奈川県板金組合顧問堀江則之氏・衆議院議員酒井学氏より祝辞を賜り、船木副理事長の閉会の辞で滞りなく式典を終了した。

祝賀会は午後三時三十分より開宴され、萩原繁夫理事の開宴の辞が述べられ、来賓祝辞に移り、神奈川県議会議員長森正明氏・関東甲信越板金工業組合協議会会長山田上氏・神奈川県議会議員国吉一夫氏・持田文男氏・佐藤光氏・竹内英明氏・松田良昭氏・磯本桂太郎氏よりいただいた。

乾杯に、神奈川県鉄鋼

二次製品協議会会長宇井一男氏の発声で祝宴に入り、しばらくして、アトラクションで獅子舞がおこなわれ盛況な祝宴になり祝賀会に花を添えた。

中締め、歌川相談役の三本締め、万歳三唱がおこなわれ監物副理事長の開宴の辞で、式典・祝賀会は盛況のうちに無事終了した。



▲県板顧問 堀江則之氏

神奈川県板金工業組合（村田隆男理事長）の創立五十周年記念式典・祝賀会が一月十八日ホテルメルパルク横浜で開催され、来賓、メーカー、商社、業界関係者を合わせて二二四名超が出席した。

式典は午後二時に、監物副理事長の開会の辞で開会、続いて黙祷、来賓の紹介、来賓の紹介では全員が紹介された、実行委員長挨拶に市川副理事長が五十周年の歩みを読み上げた。

引き続き理事長挨拶があり野村幸三郎氏が発起人となり、昭和四十二年四八二名出席し創立し、日本経済は、高度経済成

長期にあり、組合員への加入者も八〇〇名を越え、組合員の経営状況も順調で華々しい一時期だった。

しかしながら、第一次、二次のオイルショック、さらにバブル経済の崩壊で厳しい状況になり、この状況を懸念し、歴代の築き上げた実績を踏まえ将来を見据えた課題を掲げ、関係機関のご支援、ご指導をいただきながら、五十周年を迎えることができ感謝を申し上げます、今後変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます。

次に、表彰式に入り、神奈川県職業能力開発協会会長表彰に神奈川県板



▲市川副理事長



▲副知事 中島正信氏



▲全板連 石本惣治氏



▲県板役員



▲船木副理事長



▲鉄二協 宇井会長



▲齋藤副理事長



▲獅子舞



▲獅子舞



▲来賓 組合役員一同

# 全板国保神奈川支部会議員総会



田中靖一氏など紹介され、原案から第五号議案まで、原案通り承認され議事は終了しました。続いて来賓挨拶では、全板国保事務局長 田中靖一氏より全板国保に関する有意義なお話を頂きました。

平成二十八年度全国板金業国民健康保険組合神奈川支部会議員総会が、八月二十四日(水)ホテル横浜ガーデンで開催されました。開会の辞に監物副支部長として村田支部長の挨拶から総会算報告、監査報告の後、議案は原案通り承認されました。第三号議案平成二十七年年度剰余金処分案、第四号議案平成二十八年年度事業計画案、第五号議案平成二十八年度収支予算案、第三号議案か

# 第八回 安全大会

「第八回 神奈川県板金の後、ミドリ安全(株)組合安全大会が、平成二十八年十月二十七日、岩崎真伍氏による安全講話「安全靴の選び方・転倒災害について」の実際が印象的でした。災害事例の発表では、保土ヶ谷支部の萩原繁夫理事による「君ならどうするこんな時」と題した、足場での災害事例と参加者からの質疑応答をまじえ、かなり熱の入った発表の場となっていました。大会宣言には、冒頭に記した、「足場よし 作業前点検怠るな 危険予知してゼロ災害」



「足場よし 作業前点検怠るな 危険予知してゼロ災害」をテーマとした大会宣言が行われ、冒頭に記した、「足場よし 作業前点検怠るな 危険予知してゼロ災害」船木弥一理事を代表に、参加者全員で大きな声で唱和し、海藤定吉理事の閉会の言葉で大会を終了いたしました。

# 第四十八回技能コンクール

平成二十八年十月二十日(土)

県立産業技術短期大学校西キャンパスにおいて、開催されました。参加者六名で、競技課題は、如雨露で、三時間三十分以内で作品を作り上げ、選手の皆様全員で、真剣に取り組みました。選手、委員の皆様ご苦労様でした。



最優秀賞 監物 太一  
優秀賞 監物 公生  
神技連会長賞 河口 哲也  
名工会長賞 深井 英明

# ものづくり魅力発信講座

平成二十九年二月三日(金) 横浜市立六浦中学校

参加者、中学二年生十名(男子九名・女子一名)指導者「ものづくりマイスター」柳川辰男・石本雅裕・早川誠・監物庄二・土田和治・市川貴章・市川肇以上7名

八時二十分打ち合わせ、県板代表柳川氏出席し、9時から、生徒代表より挨拶があり、石本氏より建築板金の大変さ、良き指導で真剣に取り組み、でき上がった作品を大変喜んでいました。終わりに、生徒の晴也君の最後の挨拶があり、十一時三十分終了しました。マイスターの皆様御疲れ様でした。

# 第十一回 プラザフェスタ

平成二十九年二月二十日

五日(土)かながわ労働プラザにおいて、板金はラクターづくりで、子供はじめ左官・調理・広告美術など十三団体が参加し開催されました。

平成二十八年九月十四日(水)かながわ労働プラザ三階多目的ホールにおいて開催された。大会目録には、次のような主旨が、かかげられた。

# 第二十七回関東甲信越板金工業組合協議会 青年部 研修会 in 群馬

平成二十八年十月十五、十六日に、太田市太田グランドホテルにて研修会が開催され、青年部百名が参加。研修会のテーマは「健康」三つの講習会が開催され、仕事・私生活においても役に立つ研修会となりました。

「このつどいは、神奈川県の技能士が一同に会して相互の啓発と交流をとおして、技能士相互の協調・連携を図り、技能士の社会的、経済的地位と組織拡大を図ることを目的とする。」

一・いざという時に家族や友人・仕事仲間の命が救えたら：「心肺AED講習」講師 P U S H P U R O , J E C T 公益財団法人日本心臓財団群馬 P U S H プロジェクト  
二・ストレスや悩みが軽減や緩和されたら：「メンタルヘルスについて」講師りふれっすン Q u 武井佳奈子様  
三・笑って健康に生活で



# 全板国保に加入しませんか 板金業個人事業主の方ぜひご検討ください!

○保険料 第1種(事業主) 組合員(月額) 18,200円  
家族(月額) 5,800円(1名)  
※別途(介護保険料一律2,400円40歳以上64歳未満)  
○病気やけがに対する医療給付や出産、休業、死亡等に対する各種給付を行っています。  
○組合員や家族の健康の保持増進、疾病予防等の健康づくりの事業を行っています。  
<全板国保HP>  
http://www.zenban-kokuho.or.jp  
<問合せ先>全板国保神奈川支部 TEL 045-662-2164



# 「匠の小学校二〇一六」開講 夏休み特別企画

平成二十八年八月二十一日(日)夏休みももうすぐ終わりに近づいたこの日に事前に申し込み、抽選で選ばれた小学生とその父兄を対象に「匠の小学校」こども体験教室が横浜市技能文化会館で開講されました。子供たちの夏休み自由研究や工作の宿題にぴったりの人



気のイベントです。大工さん・塗装屋さんをはじめ十二団体の職人さんたちが、各教室でそれぞれ工夫をこらし子供たちに体験制作をしてもらいます。講師には、齋藤市連会長をはじめ十名の組合員が参加して頂いた千支とキヤラクター飾りの制作を、午前中二十名・午後二十名の満足げな笑顔を見ると、疲れもなんのその、と言った感じで、「また来年も来てね!」と子供たちの肩をたたいていたのが印象的でした。講師の皆さん大変ご苦労さまでした。

## 南支部創立七十周年記念式典

### 「五十年・百年その先へと続く未来に」

平成二十八年十月十六日(日)メルパルク横浜において神奈川県板金工業組合南支部創立七十周年記念式典が開催されました。来賓には、神奈川県板金工業組合連合会会長をはじめ、県板各理事・事務局そして衆議院議員内閣官房官菅義偉様代理秘書小池文彦様、横濱市会議員渋谷たけし様、南支部顧問や各材料店の代表の方々三十五名が出席されています。南支部の組合委員長として、昭和二十年の終戦の年との事、初代支部長が伊藤氏の祖父であり、現在の支部長が八代目になるそうです。支部員もかなりの人数が二代目・三代目となっています。南支部に貢献された先輩方への感謝状が手渡されました。村田県板理事長、齋藤市連会長の挨拶があり、来賓の方々の祝辞、内閣官房長官菅義偉様からの祝電が読み上



## 第五十回横浜市技能功労者表彰式 第四十八回横浜市優秀技能者表彰式

平成二十八年十一月八日(火)横浜技能文化会館において、横浜市技能功労者・優秀技能者の表彰式が行われました。技能功労者は二十職種・五十一名が表彰され、板金工では、港北支部の佐久間敏昭さん・金沢支部の岩崎繁雄さん・青木龍雄さん・南支部の伊藤祐吉さんが表彰されました。優秀技能者は二十五職種・六十名が表彰され、同じく板金工からは、旭・瀬谷支部の三浦信弘さん・港南支部の林秀樹さん・浅利裕之さんの三名が表彰されました。当日は、横濱市技能文化会館から表彰された皆さんのお祈り申し上げます。



頭で祝宴が始まりました。伊藤支部長より南支部七十周年を迎える準備に貢献された、式典実行委員・記念誌製作委員のスタッフの紹介があり、本当に南支部の団結力の強さをうかがわせるひとときとなりました。後日南支部スタッフの一人である立脇義晴より頂いた記念冊子の一節に「七十年前終戦後の混乱のなか、先人達が行く末も見えていなかったであろう世に向かい、当組合を築き、現在に至っておりますが、先輩達も苦労はすれど心では(こんな笑顔!)を期待していたのではないのでしょうか。私たちもこの先『五十年・百年その先へと続く未来に、幸せな笑顔!』を継続していきたいものです。」と記載されておりました。素晴らしいコメントではないでしょうか、まさにそうありたいものです。南支部のますますの発展をお祈りいたします。



## 藤沢市学校訪問事業

平成二十九年二月二日(木)神奈川県板金工業組合藤沢支部(支部長、萩原敏男)の支部員及び青年部員の十四名による「藤沢市学校訪問事業」(藤沢市技能職団体連絡協議会加盟四団体による訪問)の授業を行いました。我々は藤沢市立高浜中学校の一年生のうち希望者男女混合三十五名の生徒による「ちりとり製作」を担当、あらかじめ支部組合員ほか青年部員で板取や半加工済の平板より生徒によるケガキ、鉄による切断、バツタによるあだ折、田楽木槌、拍子木によるつぶし、エキセによる立ち上げ、掴みと拍子木による馳閉め、ドリルとりベッターによる取っ手の取付を縫ってちりよりの完成へ。生徒の努力と支部組合員たちの協力のもと予定時間より十分早く全員が見事に完成させました。授業冒頭に差し金によるケガキとケガキ線通りに切る金属鉄での裁断の練習の効果が見事に発揮されました。まったく鉄を使えなかった生徒が完成後の余った時間にはもつと鉄板を切る練習がしたいとたくさんの鉄板を申し込みながら切っていました。学校訪問事業は毎年大変好評で訪問して欲しいと希望する学校も大変に多く、また希望する生徒も男女問わず大変に多いようです。先生や生徒にも平板から立体のちりとりが出来るという感動と自分たちにも出来るんだという自信、そして両親には完成品(成果)を見せることが出来るという満足感などもある事が毎年依頼していただける理由のひとつだと思われまます。今回は左利きの生徒が多数いたため鉄板が満足に使用できない生徒がいました。「次回は左利き用の鉄板も必要だ」と反省意見も支部組合員からは出ました。



## 第三十五回厚木技能祭

平成二十八年十一月十二日・十三日午前十三時三十分から厚木中公園で、開催された。天候にも恵まれて、一六八〇人の参加で賑わいました。県板からは十二名の方が参加されました。



## 横浜市民技能祭り

平成二十八年十月二十三日(日)横浜公園に於いて、技能祭りが開催されました。板金組合の出し物は、例年通り銅板の表札と個人で制作したものが並びました。銅板で作った行燈は同業者が目をつけ、早々に売り切れてしまったようです。表札作りも作り方を簡素化して、素人のお客さんにも作りやすく工夫されたようでした。青年部も例年通り、鶴と亀を銅板と真鍮、ステンレスで制作しました。ステンレスはスプリングバックが大きい分、作るのに手間が掛かったようでした。当日は天気にも恵ま



